

ろくべえまっそろよをよんで

高田 瀬風

これは、あなたにおちたいぬのろくべえのおはなしです。

わたしは、このものがたりをよんで、クツキーをかごにいれておろすばぬんがきになりました。わたしは、すごくよいかんがえだとおもいました。でもクツキーがかごからおちたので、びっくりしました。でもまたかごには、いつたのこあんしんしました。もしわたしだつたら、ろくべえのすきなおもちゃをかごにいれたら、あいらとおもいました。なぜなら

考くがえのすきなおもち^かだから
ちくがえはおもち^かにっかられ^かわ
ごはのちとおもいました。
このおはなしをよんで、たのし
いおはなしなのを^いとしょ^いつを
かりよるとおもいました。かぞく
にもおしえようとおもいました。
かぞくにもおはなしのな^いようを
おしえたいとおもいました。それ
から、どうおもったかききたいと
おもいました。さ^んどお^かあさんと
にかつてもあいた^いとおもいます。
とともなが^いおはなしなのをたの
しいとおもいました。